

# みやけの風

## 第 60 号

平成13年(2001年)12月22日(土)発行  
 発行：三宅島災害・東京ボランティア支援センター  
 発行責任者：上原 泰男  
 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ 10階  
 東京ボランティア・市民活動センター気付  
 TEL：03-3260-7573 FAX：03-5229-1646  
 E-mail：tokyocenter@cmppo.org

「しかし、きれいなもんだな」「何がよ」「木という木に豆電球つけてよ～。去年もこんなだったかし?」「去年は何だかバ～タバタしててよく覚えてねえよ」「おうよ」「クリスマスの飾りが目に入るだけ、落ち着いたってことかし?」「それは何とも言えねえな。それよりも、おら電気代が心配になっちゃってよ～」「だから。自分が払うんじゃねえのにな」「島でも若い衆らが鉄砲場で飾りを作ってたっけな」「おうよ。なつかしいな」「クリスマスも過ぎりゃあ、ハイ年越しだしよ」「お～い。みんな元気だかよ～。正月が来んぞ～」

### ◇ 三宅島社協より

昨年の暮れ、最初の三宅島島民ふれあい集会で全島避難後初めて、皆さんと再会した時のことが昨日のこのようです。肩をたたきあい心から喜びを分かち合う姿が、今もまぶたに焼きついています。

あれから一年、私たち島民は避難先の地域で支えあい、励まし合い、慰め合い、そしてたくさんの方々に支えられて過ごしてまいりました。秋には念願の一時帰島も実現し、第3回ふれあい集会では、普賢岳の経験を学ぶことも出来ました。

いつ終わるとも知れない避難生活が続きます。できない事の多さにくじけず、出来ることをする精一杯の努力を持って、社協は今後も活動します。

寒くなっております。皆さんどうぞお体に気をつけてお過ごしください。新しい年が私たち島民にとって少しでも良い年になることを願っております。一年間ありがとうございました。来年もよろしくお願いいいたします。

(三宅島社会福祉協議会)

### ◇ 三宅島支援東京センターより

今年も残りわずかになって参りました。皆様、風邪など召していらっしゃいませんでしょうか。

さて、先日12月8日に今年最後の「第18回三宅島島民連絡会会議」が開催されました。師走のお忙しさのためか、いつもより少ない出席者ながら、「三宅島島民連絡会会議 あり方整理作業チーム」の方々から、前回までの島民連絡会会議で出された意見や会議の果たしてきた役割などについて整理したものの報告と提案がされるなど、静かながら大事な会議となりました。

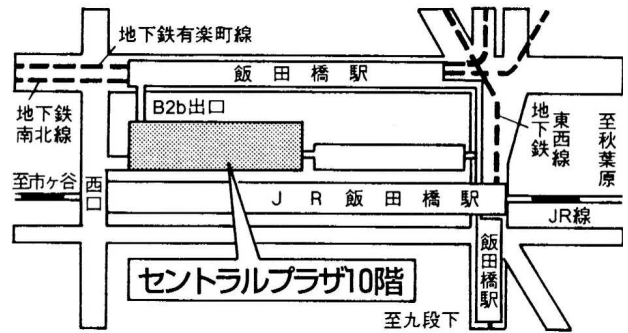
新しい年に向かって、島民がどのようにこの困難を乗り越えていくかを考えるとき、行政も交え、全島民がみんなで知恵を出し合い行動していく必要があるのではないかと思います。来年最初の「三宅島島民連絡会会議」は、今後の島民連絡会のあり方を問うたいせつな契機となる会議になることと思います。一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。(次ページに続く)

## 年末年始の休業について

三宅島社会福祉協議会および三宅島災害・東京ボランティア支援センターは、**12月29日(土)より1月3日(木)までを休業**とさせていただきます。みやけの風12月29日の発行はお休みさせていただき、**次号の発行は年明け1月5日(土)**の予定です。配布回覧のお世話をした下さった方々、また、たびたびの間違ひにも負けずに毎回読み続けて下さった方々、1年間お疲れ様でした。来年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。また、**無事60号を発行**できましたこと、**数々の原稿をお寄せ下さった方々のお陰様と深く感謝申し上げます**。これからもどしどしお寄せくださいますようお待ちしております。(三宅島支援東京センター)

**第19回三宅島島民連絡会会議の日程**

日時: 2002年1月12日(土) 13:30~  
 場所: 飯田橋セントラルプラザ10F A,B会議室  
 お問い合わせ: 三宅島支援東京センター  
 TEL: 03-3260-7573  
 FAX: 03-5229-1646



**三宅島島民連絡会会議「あり方整理作業チーム」(仮称)からのお知らせ**

三宅島島民連絡会会議では、この間、様々な事について話し合ってきましたが、今後の会議のあり方について話し合う中で「なぜ、行政に対して住民の声が十分に反映されないのか?」「行政と住民が連携して今の生活や今後の復興について考えていきたい」という意見が多く出ました。それを受け、今後の三宅島島民連絡会会議のあり方も含めて、これまで話された内容を整理する事が必要ではないか?という事で有志(あり方整理作業チーム 仮称)が集まりまとめました。

◆第17回 三宅島島民連絡会会議

- ・「三宅島島民連絡会会議」での全体的課題に対しては、住民と行政または議会と連携し共に検討していく事が必要ではないか。
- ・「三宅島島民連絡会会議」が行政や議会に対して正式に認められている場ではないので、出された全体的な課題についての意見や要望を、正式に伝える事ができない。
- ・住民が主体となって、意見や要望をまとめる作業が必要。

◆これらの課題に対して「あり方整理作業チーム」でまとめ、話し合った結果、以下のような意見が出されました。

- ・「三宅島島民連絡会会議」は自由に参加し、意見交換ができる場として継続していく。
- ・「三宅島島民連絡会会議」に出された島民の意見集約や、行政や議会と正式な意見交換や、話し合いをするための機能が必要。
- ・「三宅島島民連絡会会議」を、島民の意見集約の場であると共に行政や議会との意見交換の場としていく。

◎「三宅島島民連絡会」を、上記のような機能をもつ会にして行くことが必要ではないか。

「第18回 三宅島島民連絡会」では、「あり方整理作業チーム」から「三宅島島民連絡会のなかに三宅島住民主体の「運営委員会」(仮称)を設け、その機能維持のために役員体制を設けてはどうか?」という一つの提案を出しましたが、次回の三宅島島民連絡会会議でも、引き続き今後の三宅島島民連絡会会議のあり方について多くの方の意見を頂きながら一緒に話し合いたいと思っています。団地の方々や各島民会などで話し合ってください、**「第19回三宅島島民連絡会会議」(平成14年1月12日(土))にも参加していただけると嬉しく思います。**

[あり方整理作業チーム(仮称)]

(※会議内容のまとめと整理を目的に集まった有志であり、特定の権限を持つものではありません。)

青沼 宣行/栗本 まゆみ/坂上 幸一郎/坂上 由香/鈴木 利彦/鈴木 博/高松 洋子/田中 俊比古/  
 築穴 律男/津村 明/早川 マス子/松岡 靖恵/宮下 加奈/宮下 淑子 以上(50音順)

☆「特別養護老人ホームあじさいの里」のいきいき健康教室☆

来年も、たくさんの方のご参加で、皆で楽しくげんきになりましょう!  
**年明けは1月8日(火)からです。1月のテーマ:『血圧の話』**